



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月11日

上場会社名 北川精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 西田 圭司 TEL 0847-40-1200
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	2,652	△23.4	352	7.9	355	8.9	182	△20.7
2019年6月期第3四半期	3,463	10.1	326	31.9	326	32.8	230	15.3

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 187百万円 (△25.9%) 2019年6月期第3四半期 252百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	23.91	—
2019年6月期第3四半期	30.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第3四半期	6,492	1,875	28.9	245.20
2019年6月期	7,079	2,118	23.8	220.74

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 1,875百万円 2019年6月期 1,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	△22.3	350	△39.3	340	△38.7	150	△6.4	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）キタガワエンジニアリング株式会社

（注）詳細は、【添付書類】6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：有
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（注）詳細は、【添付書類】6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年6月期3Q	7,649,600株	2019年6月期	7,649,600株
2020年6月期3Q	1,838株	2019年6月期	1,838株
2020年6月期3Q	7,647,762株	2019年6月期3Q	7,647,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半では企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調にありましたが、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に想定以上の影響を及ぼす状況となっております。

このような状況のもと当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」に基づき、引き続き3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品／サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に取り組んでおります。

また、事業の選択と集中を図り、中長期にわたり業績の拡大を目指すうえで、成長事業を柱とした事業領域に資源を集中するため、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡し、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,652百万円(前年同四半期比23.4%減)、営業利益352百万円(前年同四半期比7.9%増)、経常利益355百万円(前年同四半期比8.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益182百万円(前年同四半期比20.7%減)となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の受注金額・納期にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

銅張積層板・多層基板成形用のプレス装置、自動車部品製造ライン・樹脂成形用プレス装置など多様な受注を獲得する中で、工程管理や原価削減への取り組みの徹底を継続的に進めた結果、売上高2,477百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益325百万円(前年同四半期比28.5%増)となりました。

(その他)

油圧機器の売上が堅調に推移しており、売上高175百万円(前年同四半期比26.7%増)、営業利益20百万円(前年同四半期比15.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は6,492百万円となり、前連結会計年度末に比べて587百万円の減少となりました。増加の主なものは、仕掛品789百万円、減少の主なものは、受取手形及び売掛金915百万円、建物及び構築物(純額)118百万円、土地237百万円であります。

(負債)

負債合計は4,616百万円となり、前連結会計年度末に比べて343百万円の減少となりました。増加の主なものは、電子記録債務284百万円、前受金186百万円、減少の主なものは、支払手形及び買掛金131百万円、短期借入金250百万円、長期借入金161百万円であります。

(純資産)

純資産合計は1,875百万円となり、前連結会計年度末に比べて243百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益182百万円の計上と、非支配株主持分430百万円の減少によるものであります。

なお、当社は、第2四半期連結会計期間において欠損填補を行っております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期連結業績予想の進捗につきましては、当第3四半期連結累計期間において営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに通期の予想値を上回るペースで推移しております。また、新型コロナウイルス感染拡大による影響につきましても、製造に中・長期間を要する受注生産品が多くを占める当社事業の特徴から、現時点における通期の業績への影響は限定的であります。

しかしながら、海外への渡航制限や国内での移動制限の長期化による工期延期などが今後の業績に影響を及ぼす可能性があるため、2019年11月8日に公表しました通期連結業績予想を据え置いております。

なお、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,747	1,758,828
受取手形及び売掛金	1,980,741	1,065,680
商品及び製品	6,187	1,119
仕掛品	827,388	1,616,535
原材料及び貯蔵品	137,963	98,878
その他	51,730	104,477
貸倒引当金	△5,502	△2,928
流動資産合計	4,770,255	4,642,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	576,681	458,526
土地	1,291,323	1,054,062
その他(純額)	206,945	172,310
有形固定資産合計	2,074,951	1,684,899
無形固定資産	22,124	11,230
投資その他の資産		
その他	222,643	163,190
貸倒引当金	△10,815	△9,790
投資その他の資産合計	211,828	153,400
固定資産合計	2,308,904	1,849,529
資産合計	7,079,159	6,492,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830,940	699,830
電子記録債務	391,396	675,601
短期借入金	1,375,000	1,125,000
未払法人税等	76,785	6,465
前受金	595,487	781,766
賞与引当金	29,842	51,977
製品保証引当金	39,032	38,300
その他	330,853	240,720
流動負債合計	3,669,339	3,619,661
固定負債		
長期借入金	827,961	666,680
役員退職慰労引当金	62,347	1,050
退職給付に係る負債	388,412	320,776
その他	12,837	8,755
固定負債合計	1,291,557	997,261
負債合計	4,960,897	4,616,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	300,000
資本剰余金	1,340,745	660,987
利益剰余金	△993,880	903,773
自己株式	△1,114	△1,114
株主資本合計	1,680,760	1,863,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,770	8,137
為替換算調整勘定	4,653	3,414
その他の包括利益累計額合計	7,424	11,551
非支配株主持分	430,077	—
純資産合計	2,118,262	1,875,198
負債純資産合計	7,079,159	6,492,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,463,560	2,652,726
売上原価	2,574,292	1,837,735
売上総利益	889,267	814,991
販売費及び一般管理費	562,872	462,930
営業利益	326,395	352,060
営業外収益		
受取利息	537	322
受取配当金	533	568
受取賃貸料	6,300	7,470
為替差益	—	7,970
補助金収入	20,164	15,247
その他	4,094	4,328
営業外収益合計	31,630	35,905
営業外費用		
支払利息	27,789	24,154
その他	3,898	8,499
営業外費用合計	31,687	32,654
経常利益	326,337	355,312
特別利益		
受取保険金	15,130	—
子会社株式売却益	—	18,657
特別利益合計	15,130	18,657
特別損失		
減損損失	—	136,235
災害による損失	22,319	—
特別損失合計	22,319	136,235
税金等調整前四半期純利益	319,148	237,735
法人税等	65,655	54,849
四半期純利益	253,492	182,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,882	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,609	182,886

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	253,492	182,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△911	5,366
為替換算調整勘定	△304	△1,239
その他の包括利益合計	△1,216	4,127
四半期包括利益	252,275	187,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,393	187,013
非支配株主に係る四半期包括利益	22,882	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2019年9月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2019年11月1日付けで減資の効力が発生し、当第3四半期連結累計期間において、資本金の額1,035,010千円及び資本準備金の額1,240,745千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振替えました。振替後のその他資本剰余金のうち1,714,767千円を取り崩し繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間末において、資本金が300,000千円、資本剰余金が660,987千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったキタガワエンジニアリング株式会社の全株式を同社に売却したため、当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、見積実効税率により税金費用を算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)
当第3四半期連結累計期間の(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)
(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで「産業機械事業」及び「建材機械事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡したため、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

このため、「産業機械事業」以外の事業は重要性が乏しいことから、記載を省略しております。